

## 「男女いきいき蒲郡」をめざす市民アンケート調査結果の概要について

蒲郡市では、第 2 次蒲郡男女共同参画プラン策定のための基礎資料とするため、「男女いきいき蒲郡をめざす市民アンケート」を実施しました。

調査結果の概要は下記のとおりです。

### 記

#### 1 調査概要

- |            |                                      |         |
|------------|--------------------------------------|---------|
| 1)調査対象     | 蒲郡市内在住の満 20 歳以上の男女                   | 2,000 人 |
| 2)調査方法     | 郵送法                                  |         |
| 3)調査時期     | 平成 21 年 10 月 13 日から平成 21 年 10 月 30 日 |         |
| 4)回収数(回収率) | 778 人 (38.9%)                        |         |
| 5)調査項目     | ・男女の人権尊重について                         | (6 問)   |
|            | ・政策・方針決定過程への男女共同参画について               | (4 問)   |
|            | ・就業における男女平等の推進について                   | (6 問)   |
|            | ・家庭・地域生活での男女共同参画について                 | (8 問)   |
|            |                                      | 計 24 問  |

#### 2 主なポイント

##### <男女の人権尊重について>

##### 男女の望ましい生き方について

・女性の生き方について、「仕事にも携わるが家庭生活や地域活動を優先させる」と回答した人は 30.8%、「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」と回答した人は 24.8%である。(P.3 図 1-1 参照)

・男性の生き方について、「家庭生活や地域活動にも携わるがあくまで仕事を優先させる」と回答した人は 46.4%、「家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させる」と回答した人は 19.9%である。(P.3 図 1-2 参照)

##### 男女の平等について

・「学校教育」については「平等」と回答した人が 63.4%と、ほかの項目と比べて圧倒的に高い割合である。また、法律や制度については、「平等」と回答した人が 42.9%で 2 番目に高い割合である。(P.4 図 2 参照)

・「男性優位」と回答した人の割合は、高い順に「就職や職場」(82.5%)、「政治・経済活動」(75.2%)、「社会や習慣」(65.7%)となっている。

・全国調査(平成 21 年内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」と比較すると、ほとんどの項目で「平等」の回答が低い。(P.4 表 1 参照)

・愛知県調査(平成 20 年「男女共同参画意識に関する調査」と比較すると「就職や職場」、「地域社会」の項目で「男性優位」の回答が高いが、「家庭生活」では「女性優位」の回答が大きく上回っている。(P.5 表 2 参照)

< 政策・方針決定過程への男女共同参画について >

市政への女性意見の反映度について

・蒲郡市の行政等への女性意見の反映度については、「まあまあ反映されている」と回答した人は 14.0%で、「あまり反映されていない」と回答した人は 18.9%である。(P.5 図3 参照)

・前回調査(平成 11 年「男女共同参画に関する意識調査」と比較して「まあまあ反映されている」と回答した人の割合(12.1% 14.0%)に変化はないが、「あまり反映されていない」と回答した人の割合(28.5% 18.9%)は 10%近く低くなっている。

政策等の決定の場へ女性の進出がない理由について

・回答した人の割合が高い順に、「男性優位の組織・運営」(54.2%)、「家族・職場・地域における性別役割分担・性差別の意識」(32.4%)、「女性側の積極性が十分でない」(30.2%)、「家族の支援や協力が得られない」(24.3%)、「女性の活動を支援するネットワークの不足」(23.9%)となっている。(P.6 図4 参照)

< 就業における男女平等の推進について >

女性の職業と生活設計について

・「子どもができてはずっと職業を続ける方が良い」と回答した人は 24.9%で、前回調査の 14.6%から 10%近く増加している。(P.6 図5 参照)

・「子どもができてはずっと職業を続ける方が良い」と回答した人は男性が 20.3%、女性が 29.0%と女性の方が男性よりも 10%近く高くなっている。

・「子どもができたなら職業をやめ、成長したら再び職業をもつ方が良い」と回答した人は 51.4%となっている。

女性が仕事を続けにくい要因

・「家事や育児との両立がむずかしい」(64.7%)、「育児休業や介護休業などの制度が不十分である」(22.5%)、「保育施設の数や内容が十分でない」(22.4%)の順に高くなっている。(P.7 図6 参照)

< 家庭・地域生活での男女共同参画について >

家庭における役割分担について

・「妻」と回答した人の割合は高い順に「食事の支度」(77.0%)、「洗濯」(75.1%)、「食事の片付け」(72.0%)、「掃除」(71.9%)、「日常の買い物、生活費のやりくり」(71.9%)となっており、前回調査と大きな変化はみられない。(P.7 図7 参照)

男性が家事、子育て当に参加するために必要なこと

・回答した人の割合は、高い順に「夫婦の間で家事等の分担を十分に話し合う」(38.9%)、「男性のライフスタイルの変化に対する抵抗感をなくす」(37.0%)、「男女の役割分担に対する社会通念習慣等を改める」(36.0%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及させる」(35.2%)となっている。(P.8 図8 参照)

問 仕事と家庭生活または地域活動について、女性及び男性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方でしょうか

図 1-1 女性の生き方について（性別）

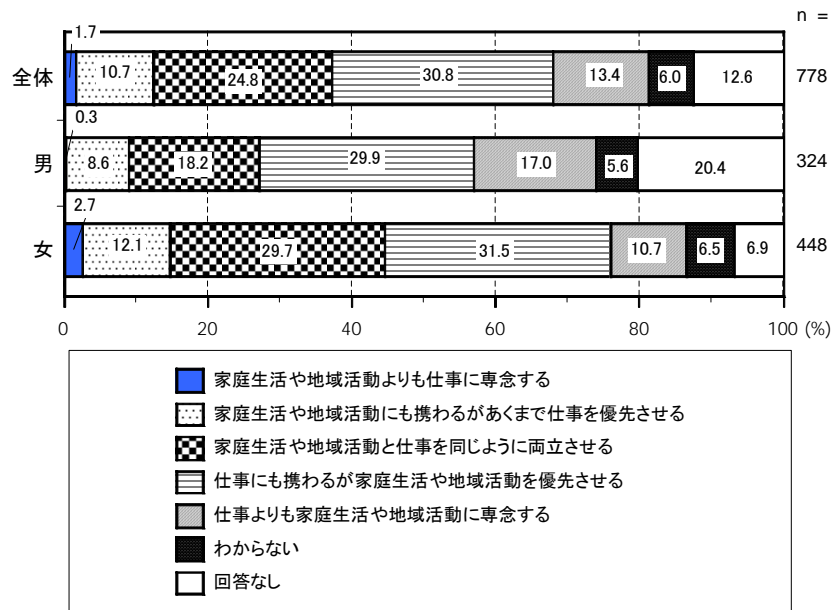
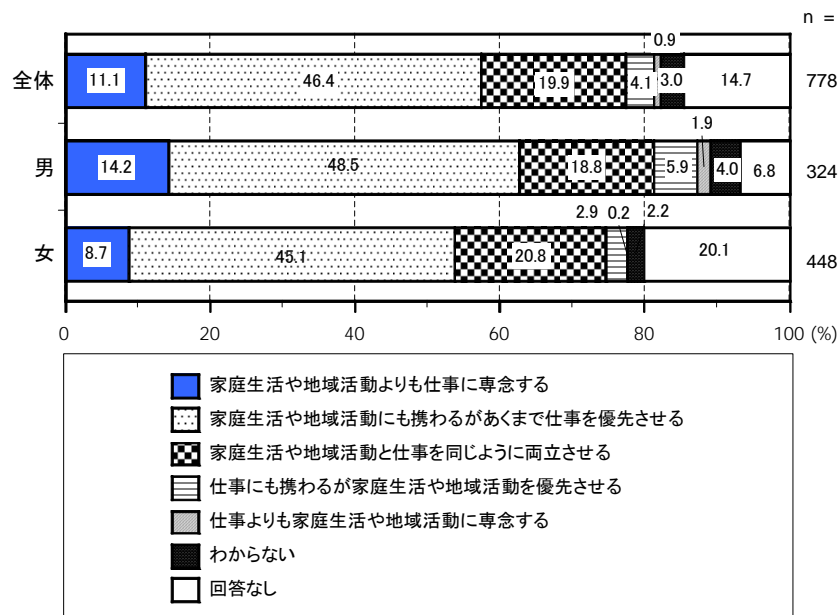


図 1-2 男性の生き方について（性別）



問 現在、日本において、女性と男性のどちらが優位にあると思いますか。

図2 女性と男性の優位性

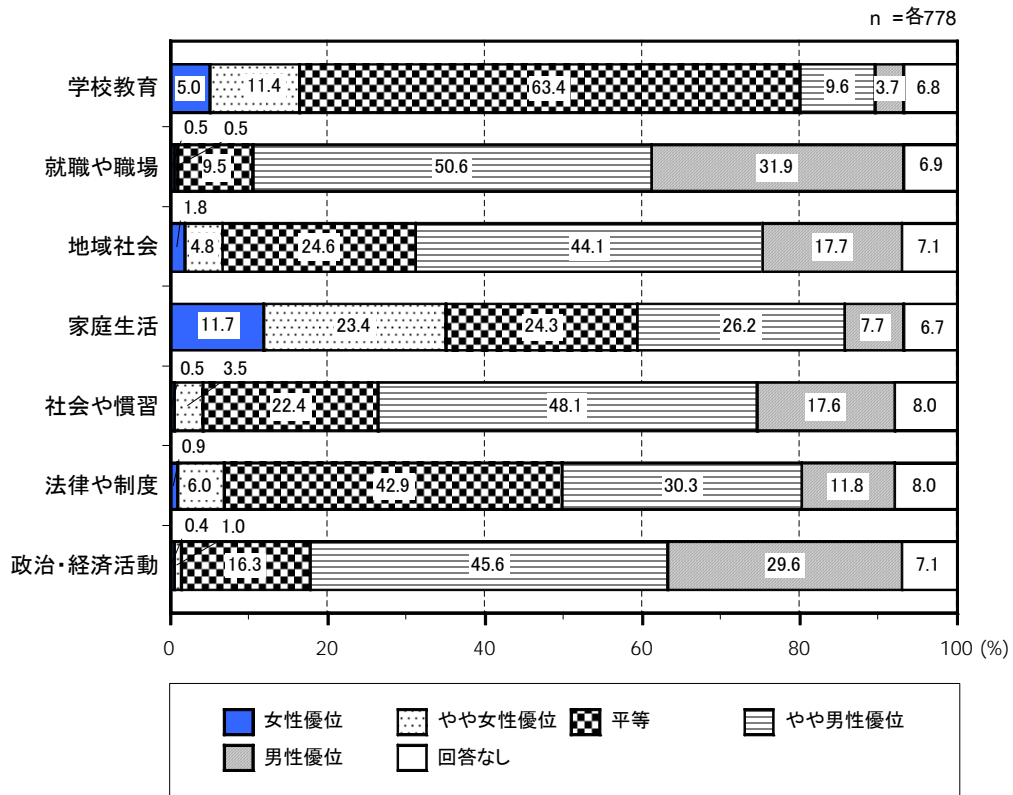


表1 全国調査（平成21年内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」）との比較

	男性優位		平等		女性優位		無回答	
	市	全国	市	全国	市	全国	市	全国
学校教育	13.3	14.0	63.4	68.1	16.4	4.8	6.8	13.1
就職や職場	82.5	62.1	9.5	24.4	1.0	5.3	6.9	8.1
地域社会	61.8	34.7	24.6	51.0	6.6	7.0	7.1	7.3
家庭生活	33.9	46.5	24.3	43.1	35.1	8.4	6.7	1.9
社会や習慣	65.7	71.9	22.4	20.6	4.0	3.9	8.0	3.6
法律や制度	42.1	41.4	42.9	44.4	6.9	7.3	8.0	6.9
政治・経済活動	75.2	71.8	16.3	21.0	1.4	2.1	7.1	5.1

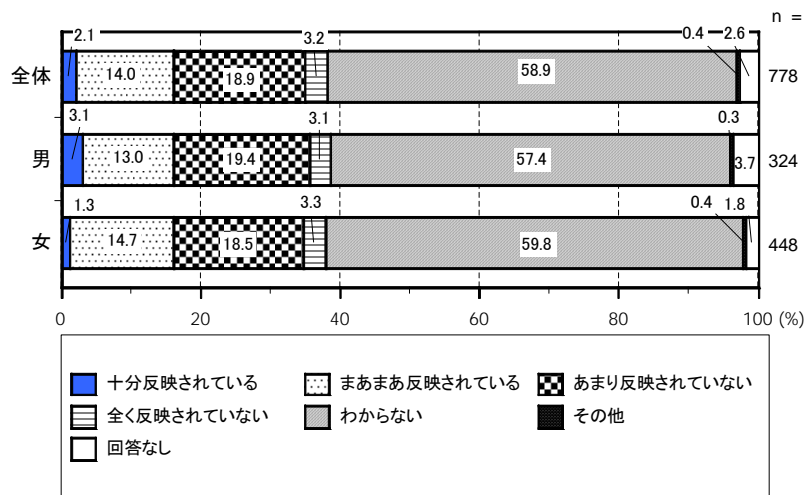
表 2

愛知県調査（平成 20 年「男女共同参画意識に関する調査」）との比較

	男性優位		平等		女性優位		無回答	
	市	県	市	県	市	県	市	県
学校教育	13.3	17.5	63.4	57.8	16.4	4.7	6.8	20.0
就職や職場	82.5	68.2	9.5	14.1	1.0	7.7	6.9	9.9
地域社会	61.8	36.7	24.6	37.8	6.6	9.9	7.1	15.6
家庭生活	33.9	56.8	24.3	26.6	35.1	9.3	6.7	7.2
社会や習慣	65.7	76.6	22.4	10.9	4.0	3.5	8.0	9.0
法律や制度	42.1	42.2	42.9	35.5	6.9	6.9	8.0	15.4
政治・経済活動	75.2	76.3	16.3	10.9	1.4	1.8	7.1	11.1

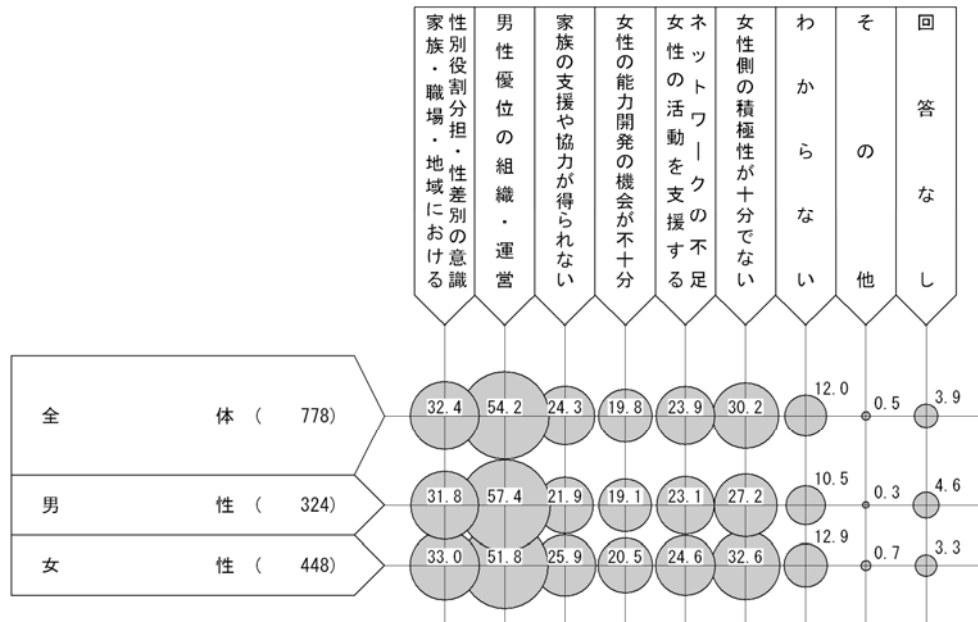
問 あなたは、現在の蒲郡市の行政や地域社会の運営において、女性の意見がどの程度反映されていると思いますか

図 3 行政や地域社会での女性の意見の反映状況（性別）



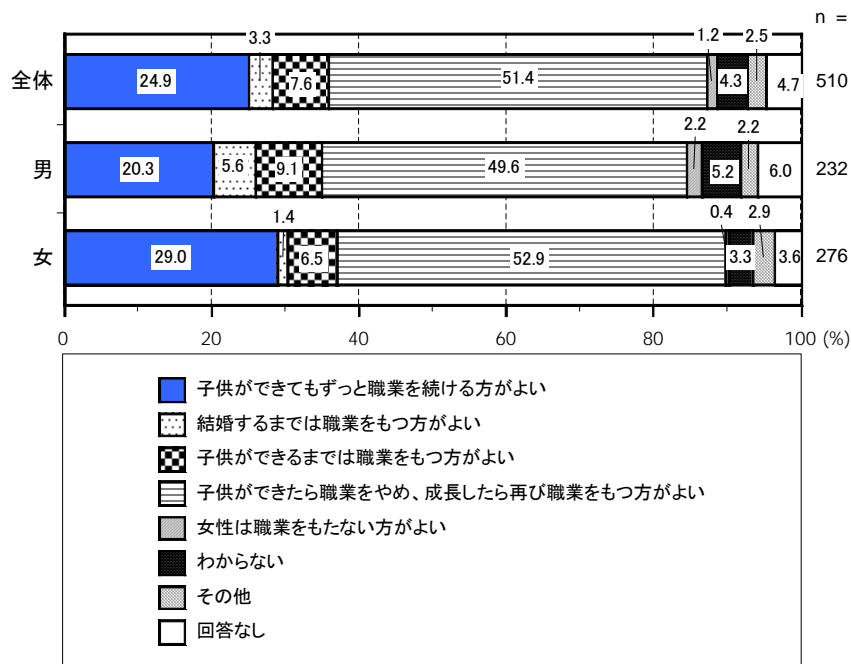
問 政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性が進出していない理由は何だと思えますか

図4 行政や地域社会での女性の意見の反映状況（性別）



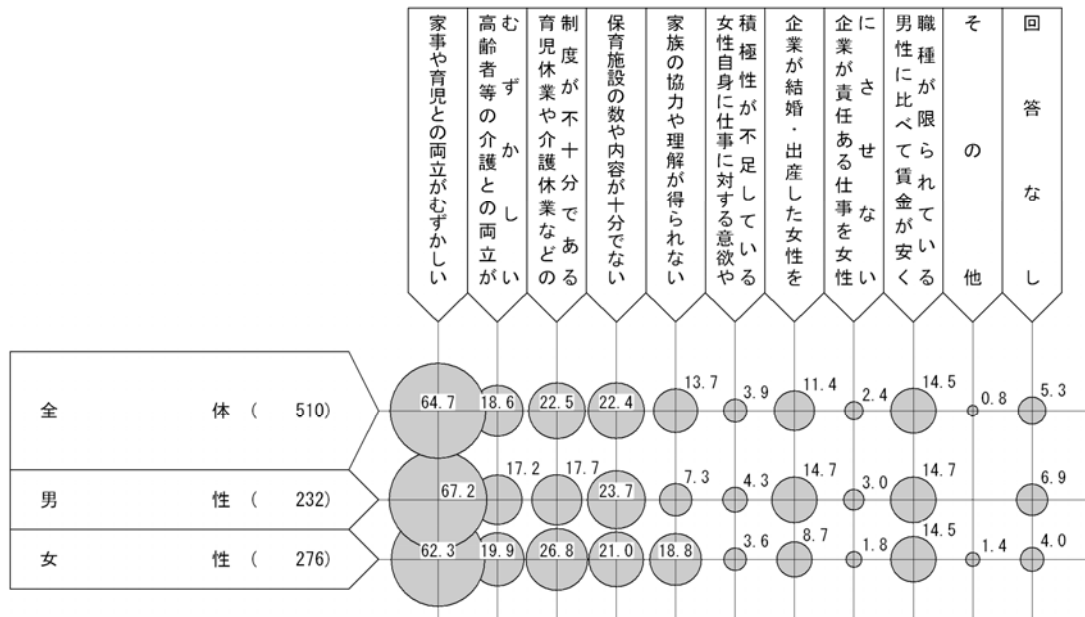
問 一般的に、女性の職業と生活設計について、どのようにお考えになりますか

図5 女性の職業と生活設計（性別）



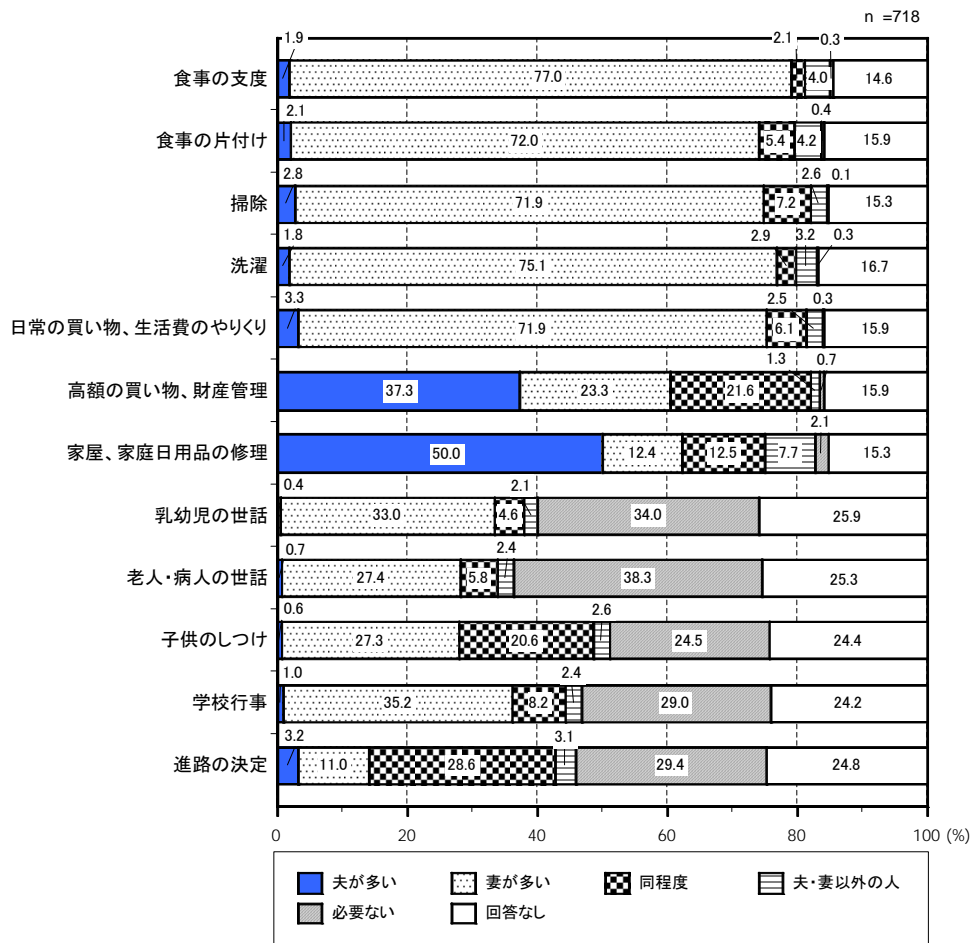
問 女性が仕事を続けにくい要因はどのようなことだと思いますか

図6 女性が仕事を続けにくい要因（性別）



問 あなたのお宅では、次のようなことを主として誰がやっていますか

図7 家庭における役割分担



問 男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか

図8 家庭や地域における男女共同参画に必要なこと（性別）

